

## 令和6年度あきる野市花いっぱい運動推進協議会第3回会議議事録

(日時) 令和7年3月26日(水) 午前10時00分～午前11時00分

(場所) あきる野市役所 5階 504会議室

(出席委員) 山崎会長、松下副会長、森田委員、志村委員、岡野委員、木住野委員、海老原委員、野口委員

(欠席委員) 安部委員

(事務局出席者) 総務部長、地域防災課長、地域安全係長、地域安全係主事

1 開会 地域防災課長

2 挨拶 山崎会長及び総務部長

3 議題

(1) 令和6年度の活動報告について

令和6年度花いっぱい運動に関する活動報告(資料1)について説明

《ご意見等》

山崎委員：レンゲ畑は、肥やしにしているのか。

事務局：肥やしにしているかどうかは担当課に確認しないと分からない。

志村委員：すき込めば、畑もきれいになるし、雑草が生えにくくなる。

(2) 令和7年度の事業計画及び予算について

令和7年度花いっぱい運動事業計画案(資料2-1)、令和7年度花いっぱい運動推進事業関係予算案(資料2-2)について説明

【令和7年度花いっぱい運動事業計画案(資料2-1)】

令和7年度花壇コンクールの日程を以下のとおり決定した。

令和7年7月4日(金) 予備日：令和7年7月11日(金)

次の協議会の集まりは、花壇コンクール実施日となる。

《ご意見等》

木住野委員：令和7年度の花壇コンクールの日程が7月4日で決定したが、資料には花壇コンクール申込書提出期限が7月上旬とある。間に合うのか。

事務局：花壇コンクールの日程に合わせて、花壇コンクール募集通知の発送及び花壇コンクール申込書提出期限を早める。提出期限は、5月下旬または6月上旬に設けるようにする。

山崎委員：何時集合か。

事務局：9時集合である。終日かかってしまうが、協力願う。開催日に近くなったら、改めて通知する。

【令和7年度花いっぱい運動推進事業関係予算案（資料2－2）】

《ご意見等》

木住野委員：昨年度より15万円程度減額する理由はなにか。

事務局：花いっぱい運動に参加する団体が令和6年度より2団体減ること及び植え付け面積を減らす団体がいるため、補助金額が減額になることが主な理由である。

木住野委員：オープンガーデン事業に関する費用はどうなっているか。

事務局：オープンガーデンマップとポスターの作成費用とオープンガーデンの庭主様へ配布するゴミ袋の費用です。

森田委員：市政30周年記念事業に関する予算は、この予算とは別にあるのか。

事務局：予算は計上できなかったが、実施する場合は、現状の予算を活用する。

森田委員：この予算規模でやるとしたら、事務局で考えていることはあるか。前の協議会では、花壇コンクールの時に何か特徴づけたら良いのではという意見があった。

事務局：花壇コンクールの入賞看板に、市政30周年記念のロゴマークを入れることを考えている。

森田委員：委員の皆様から他にアイデアがあれば、随時事務局へ直接連絡すると良いと思う。

事務局：こんなことやってみたら良いということがあれば、市では予算内で出来る限り対応していきたい。

志村委員：花壇のデザインに、「30」やあきる野市のロゴマークを入れてもらうように町内会・自治会へ案内すると良いのではないか。その場合は、市の費用はかからなくて良いと思う。

山崎委員：市の方で文面を工夫して案内をお願いします。

事務局：承知した。

(3) その他 門脇

オープンガーデン事業の今後の展開（資料3）について説明

《説明内容》

花いっぱい運動の一層の推進のために、花いっぱい運動推進協議会の提案により平成18年度から始まった事業であるが、現状から、市としては、現在の方法では登録者も減っていき事業継続は難しいと考えている。

これについて庭主様へ伝えているが、庭主様からは事業継続を望むご意見があったため、令和7年度は引き続き新規勧誘を行い、登録者の増加に努めるが、今後事業継続をするか否かを含めオープンガーデン事業について検討する必要がある。

現在、このような状況であるが、今後のオープンガーデン事業について皆様のご意見を伺いたい。

《ご意見等》

山崎委員：世の中物騒になってきているから、オープンガーデンに登録することに勇気があるのは分かる。

森田委員：庭主様の気持ちが重要である。登録者が減っていったら事業を辞めることも考えて良いと思うが（登録者がどこまで減ったら事業を辞めるかはまた別として）、現時点で庭主様が事業継続を望むのであれば、その気持ちを尊重して事業実施するのが良い。

事務局：庭に入ることには抵抗がある場合、敷地外から見られる形で参加していただくのも1つの方法である。また、ガーデニング講習会を始めたため、講習会参加者がガーデニングに興味を持ち始めたら、作ったプランター等を玄関先に飾ってもらい、敷地外から見られる庭を増やすのもありだと思う。オープンガーデン登録者の増加に向けて、様々なアプローチを検討しながら、庭主様の気持ちを大事にして、事業を継続していければと考えている。

野口委員：オープンガーデンめぐりにガイドとして参加している。1年草はなく、これまでずっと継続して作られているお庭がほとんどである。どの庭も素晴らしく、1年間通して、庭作りに励んでいる。そのため、オープンガーデンめぐりを春のみ実施するのではなく、時期をずらしてもう1回実施すれば、違った庭の見え方ができるし、より多くの方に見ていただくことが出来て良いと思う。

山崎委員：ほとんどは女性（奥さん）がやられているのか。

野口委員：高いところとかは届かないので男性（旦那さん）もやっている。

山崎委員：敷地外から見られるお庭を増やす場合、オープンガーデンの表示を掲示しないと、見学者は不審者だと思われる。

海老原委員：玄関先や門周りをきれいにしているお庭がたくさんある。玄関先限定のオープンガーデンを聞いたことがある。そういのも検討してみると良いと思う。

松下委員：プランターや小鉢を置いてきれいにしている所は結構ある。

海老原委員：登録する、しないとなると抵抗がある人がいるかもしれない。マップには載せないお庭があっても良いのではないかなと思う。

#### 4 閉 会 松下副会長